

# 消費税増税 先送りでなく、キッパリ中止を! 今年も、みなさんと力をあわせて全力をあげます

あけましておめでとうございます  
今年もよろしくお願ひいたします



消費税増税の中止に関する意見書を、政府などに提出するように、大分市革新懇など7団体から請願が出されました。

## 消費税10%への増税反対の請願が不採択に

第4回定例会は、11月28日から12月12日まで開かれました。総選挙さなかの議会でもあり、国政をはじめ、市民生活に係わる問題をとりあげ、全力をあげました。

消費税率は、昨年4月、

8%に引き上げられました。「増税の影響で、個人消費をおし下げた」と、安倍首相も記者会見で認めています。GDPの2期連続の下落は、完全な増税不況です。世論調査では6割近い人が「10%になつたら、生活できない」と答えています。社会保障のためといいながら、年金の引き下げや医療費の負担増をおこなうとしています。一方、財政再建のためといいながら、大企業には減税のばらまきをおこなうとしています。この請願を、日本共産党議員団以外の会派は不採択にしました。先送りでなく、キッパリ中止のために全力をあげます。

## 中央通り せつそくな仮設工事は問題



中央通りの中央町側1車線を減らす仮設工事に、4千万円の予算が決まりました。目的は「中央通りに、新たなにぎわい・憩いの空間を創出する」ためとされています。関係する地域全体についての議論はあまりみうけられず、車線の減少によって、にぎわい空間をつくることだけが議論されているように思われます。まだ賛成、反対の意見があり、市民の合意が得られていない工事を、駅

「混乱」に、市長陳謝  
車線減少問題では、わが党以外からも疑問の声があげられました。市長は「車線減少に特化した議論がすすみ、街づくりビジョンが十分に伝わらなかった」と陳謝しました。市議団は、みなさんのご意見をうかがいながら、街づくりをすすめていきます。

## こんにちは 日本共産党 大分市議団です

大分市荷揚町2番31号 市議会日本共産党控室  
電話 537-5695 (直通)  
Eメール: occ-jcp@oct-net.ne.jp  
http://www.jcp-oitasigidan.com/  
2014年12月議会報告

# あなたのごみ袋 開けられるかも?!

家庭ごみの有料化が実施されました。有料化がごみ減量につながることは疑問があることを、わが党市議団は指摘してきました。12月議会でも、社民クラブの議員が「違反ごみの混入がいつか」という趣旨の質問をしました。環境部長は「正しい分別や排出の指導啓発をする。混入がいつかという地域について指導啓発する。それでも改善しない場合は、ごみ袋を開封し、排出者の調査、判明したら指導する」と答弁しました。

## 市民協働はどこに… フライバシーの侵害にも…

市長は、ことあるごとに「市民との協働」と言っています。ごみ減量は、まさに市民の協働なしには実現できません。排出されたごみ袋の中を調査して、指導するのでは、監視行政でしかありません。またフライバシーの侵害にもなりかねません。さらに、ごみ袋の有料化の必要ありません。市議団は、みなさんと共同して、ごみ減量、有料化ストップのために全力をあげていきます。

# これでは子どもの成長守れません 子育て支援に全力あげます

## 碩田中解体に 1億3千万円

碩田中学校校舎等の解体に1億2900万円の予算が決まりました。碩田中学校区の3小学校と中学校を、施設一体型小中一貫校にするかについては、この間一貫して問題点を指摘してきました。また、関係者からは、疑問や不安の声があがっています。さらに、建設設計図のできあがりには3ヶ月も遅れ、説明を求めた議員に、資料を開示する姿勢すらないことも問題です。こうした状況のなかで、解体工事だけをすすめることは認められません。

## 公立幼稚園保育料 大幅値上げ

子ども・子育て支援制度は、公費を抑制して保育を市場化する制

度です。新制度の導入により、保護者世帯の所得に応じた負担となります。現行6300円の公立幼稚園保育料が、市民税非課税世帯でも9100円と44%の値上げ、推定年収680万円の世帯では25700円で4倍以上となる予定です。こんな大幅な値上げは許されません。また、未確定の消費税を財源にしている新制度そのものにも問題があります。

## 市長・議員の一時金 引き上げ必要なし

職員給与の引き上げは、意欲の喚起や地域経済への波及効果などからも重要です。しかし市長や議員の給与や報酬は引き下げられておらず、期末手当を引き上げる必要はありません。

## 傍聴記

今議会は、衆議院が解散し、総選挙真つただ中の議会でした。消費税増税の中止を求める請願書が出されました。日本共産党がいない総務常任委員会では、何の討議も意見もありません。不採択にされました。「10%に増税されると市民の生活にどれだけの影響があるか。市民の代表である議員が、市民の実態を考慮できない」と、請願書を出した団体の方々がっかりしていました。



西村 初美

一方、市民の切実な願いには反対をし、碩田中学校の解体工事や、大分駅周辺の整備にも多額の予算がつけられることには、日本共産党以外の議員は賛成しました。市民から預かった税金、その使い方が正しいのか、しっかりと見極めることが大事だとあらためて感じました。

